

Subject: 日本保健物理学会 新Newsletter 2017年3月14日号
From: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>
Date: 2017/03/14 11:07
To: <exec.off@jhps.or.jp>

日本保健物理学会 新Newsletter 2017年3月14日号

1. 学会関連情報

- 日本保健物理学会シンポジウム 「福島事故を内部被ばくから考える」参加者受付中！！
(3月24日(金) 13:45~18:30、東京大学 工学部2号館212講義室)
参加申込は学会事務局 (exec.off@jhps.or.jp) へメールにてお申し込みください。(@は全角です。修正下さい。)
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=48>

- 日本保健物理学会第50回研究発表会・日本放射線安全管理学会第16回学術大会合同大会(大分市)
要旨原稿の提出受付中、提出期限:4月10日(月)
<http://www.jhps.or.jp/jhps50/index.html>

2. 関連する研究動向

(論文情報)

- Archives of Endocrinology and Metabolism 2017
放射線被ばく由来の甲状腺がんについてのレビュー
Radiation exposure and thyroid cancer: a review
Iglesias M L et al
http://www.scielo.br/scielo.php?script=sci_arttext&pid=S2359-39972017005002107&lng=en&nrm=iso

- Journal of Environmental Radioactivity Volume 171, May 2017, Pages 99?109
修正拡散吸着固定モデルを開発し、放射性セシウムの土壌中の垂直移行分布を従来モデルより良く再現した。
Coupling the advection-dispersion equation with fully kinetic reversible/irreversible sorption terms to model radiocesium soil profiles in Fukushima Prefecture
Journal of Environmental Radioactivity 2017
Kurikami H et al
<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0265931X16305197>

○Journal of Environmental Radioactivity Volume 171, May 2017, Pages 176-188

福島県の避難地域における野生生物の調査。野生生物に対する線量はICRPが勧告するDCRLsより低かった。

Radiocaesium contamination and dose rate estimation of terrestrial and freshwater wildlife in the exclusion zone of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident

Fuma S et al

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0265931X17301534>

○Radiation Research January 11

福島県の避難地域における牛のDNA損傷の調査。700日を超えるとDNA損傷レベルがわずかに減少。DNA累積損傷に年齢依存を観察。

The Causal Relationship between DNA Damage Induction in Bovine Lymphocytes and the Fukushima Nuclear Power Plant Accident

Nakamura A J et al

<http://www.rrjournal.org/doi/abs/10.1667/RR14630.1?code=rrs-site>

○PLOS ONE February 24 2017

2011年から2015年までの相馬市の16歳未満の子供の外部被ばく線量の測定結果。年ごとに減少しいずれの年も幾何平均は1mSv/年未満。

Individual external doses below the lowest reference level of 1 mSv per year five years after the 2011 Fukushima nuclear accident among all children in Soma City,

Fukushima: A retrospective observational study

Tsubokura M et al

<http://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0172305>

○Scientific Reports February 3 2017

ガンマ線を幾何光学に基づき定量的に画像化する手法を発見し、福島地域におけるガンマ線観測でその実証に成功。

T Tanimori et al.

<http://www.nature.com/articles/srep41511>

3. ニュースや社会の動き

○UNSCEAR 「電離放射線の線源、影響及びリスクに関する（2016年版）報告書」を公表

発電技術毎の被ばく線量を比較調査、発電による一般住民の年間被ばく線量は概して少なく、一般的な環境放射線による平均線量の1%を大幅に下回ることを確認

プレスリリース：http://www.unscear.org/docs/media/UNSCEAR_2016_report_pressrelease.pdf

本文：<http://www.unscear.org/unscear/en/publications/2016.html>

○文部科学省 小学校学習指導要領案及び中学校学習指導要領案に対するパブコメを開始

（期間 2月14日-3月15日）

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/02/1382218.htm

○IAEA 天野之弥事務局長の再任を理事会で決定、3期目

<https://www.iaea.org/newscenter/multimedia/videos/iaea-board-of-governors-reappoints-director-general>

○日本原子力学会 ポジションステートメント「PS004低レベル放射線被ばく健康に与える影響」の改定版を公開

http://www.aesj.net/about_us/opinion_of_aesj/position_statement

○消費者庁 ~食品中の放射性物質等に関する意識調査(第9回)結果を公表(3月8日)

放射性物質を理由に福島県産品の購入をためらう人の割合はこれまで?の調査で?最少の15%に減少。

http://www.caa.go.jp/earthquake/understanding_food_and_radiation/pdf/understanding_food_and_radiation_170308_0001.pdf

○原子力機構 減容化と再利用を目指した粘土鉱物へのCs吸脱着機構解明と汚染土減容化へ応用

塩化カルシウムと塩化ナトリウムを混ぜた溶液で700°Cで処理した熔融塩に対して、セシウムはほぼ100%取り出した。

<https://www.jaea.go.jp/jaea-houkoku11/text/04.html>

4. これからのイベント

○(公財)放射線影響協会 放影協開催講座(ICRPセミナー)を開催

日本のICRP委員甲斐倫明、酒井一夫先生がICRP勧告・報告等について分かりやすく解説

(4月25日14:25~16:30、お茶の水・東京ガーデンパレス)

<http://www.rea.or.jp/kikaku/event/kouzakaisai.htm>

○量子機構 セミナー「職業被ばくの線量把握に関する国際活動を考える」

(3月23日14:00~16:30、31Builedge 会議室D 東京八重洲中央口徒歩4分)

IAEAの職業被ばくユニットのリーダー馬吉増氏 職業被ばく防護の国際的なMinimum Requirementについて講演

UNSCEARのグローバルサーベイに日本として協力するにあたり、小口靖弘氏(千代田テクノル)と三枝新氏(量研機構)が問題提起

参加希望の連絡先: 323seminar@qst.go.jp (@は全角です。修正下さい。)(定員10名、先着順での受付)

○日本原子力学会 男女共同参画委員会「多世代ロールモデルで描くキャリアプラン」

一活躍する先輩女性からの働き方アドバイス

原子力・放射線分野の女性従事者について、原子力関連専攻の学生から管理職クラスまで、

各世代からパネリストを選出したパネルディスカッション

(2017年春の年会 無料公開 3月27日、13:00?14:30、東海大学湘南キャンパス F会場 16号館16-206教室)

https://confit.atlas.jp/guide/event/aesj2017s/session/1F_PL/tables?YJCoQRBzt

○NPO法人放射線安全フォーラム 市民公開講座「放射線とこども」

(3月26日、13:00?16:30、東京大学 弥生講堂・一条ホール)

<http://www.rsf.or.jp>

- NPO法人安全安心科学アカデミー 平成28年度第2回勉強会「AI 入門」「放射線管理に AI の適用」
(3月27日、15:00?17:00、大阪・心斎橋、サンエイビル3階会議室)

<http://anshin-kagaku.news.coocan.jp/benkyoukaih28.0310.pdf>

- 日本原子力産業協会「第50回原産年次大会」
(平成29年4月11?12日、東京国際フォーラム ホールB7)

<http://www.jaif.or.jp/50th-annual/>

- 放射線計測研究会 第64回研究会を開催「花開く加速器利用と理研RIBF」及び
「医療用PETサイクロトロン廃止時の放射化物測定及び廃止事例」

(4月15日13:30?17:00、三菱総合研究所 大会議室AB)

<http://sites.google.com/site/radmeas/>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

- 山口大学 放射線医学講座 教授 (公募延長)

http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/news/news/post_168.html

(応募締切: 3月31日消印有効)

- 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター【卓越研究員】任期制研究者3名程度
(応募締切: 4月25日必着)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D117020984&ln_jor=0

- 宮崎大学生命科学・医学研究領域 テニユアトラック助教・講師または准教授
(応募締切: 5月8日必着)

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/ttkikou/kobo/>

- 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所 特別助教 (物構研16-9)
(応募締切: 5月26日必着)

<http://www.kek.jp/ja/Jobs/imra16-9j.pdf>

- 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所 特任助教 (物構研16-10)
(応募締切: 5月31日必着)

<http://www.kek.jp/ja/Jobs/imra16-10j.pdf>

○広島大学原爆放射線医科学研究所 教授（公募延長）

（応募締切：9月29日必着）

http://www.rbm.hiroshima-u.ac.jp/jp/news/koubo_news.html

既発行の新Newsletterはこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/newsletter/index.html>

新Newsletterにて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —
【発行】 一般社団法人日本保健物理学会
【編集】 同企画委員会
【発信元】 同学会事務局
TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659
E-mail: exec.off@jhps.or.jp
— —